

施策番号	施 策 名	予算額(百万円)	
552	流域圏づくりの推進	149	
【2010年度の目標】 森林の適正な維持管理、河川の水質浄化、正常な流量の確保などにより、保水機能などの維持、増進や人間が多様な自然や生物と共生できる環境づくりが図られるとともに、流域の豊かな自然資源を生かした産業の振興により、地域経済が活性化しています。			
項 目	基準年度の状況	1999年度実績	2001年度の目標 (2010年度の目標)
上流と下流との連携による流域圏づくりの事例数	-	2	県内4つの一級河川 (県内すべての一級河川(7))
宮川の水質	(1995年度) 全国一級河川中 水質第2位	全国一級河川中 水質 第6位	日本一水質のよい 一級河川 (同上)
宮川流域の生活排水処理率	(1995年度) 9.1%	27.3%	約 27% (44.7%)

<これまでの取組>

流域圏づくりのモデル事業として取り組んでいる宮川流域ルネッサンス事業は、基本計画、第1次実施計画に基づき事業を進めており、平成12年度には流域内に事務所を設置し、より地域に密着した取組を行っています。

生活排水対策については、平成11年度末の宮川流域における生活排水処理率が27.3%であり、平成13年度目標を既に達成している状況です。

また、流域圏づくりについては、各生活創造圏で積極的な取り組みが進められており、徐々に成果があがりつつあります。

<平成13年度の取組>

平成13年度においては、住民、企業、行政の協働がより促進されるよう、宮川流域ルネッサンス事業の総合調整を進め、地域での普及啓発や住民参画型の事業を実施します。

また、フィールドミュージアム計画はバージョンアップを図り、人と自然の共生をテーマにして、宮川流域全域にその取組を拡大します。

あわせて、生活排水処理率のさらなる向上を図るため、県と町村が連携して施設整備に努めるとともに、地域と一体となった取組を行い、水質ランキングの向上を図ります。

流域圏づくりについては、引き続き、生活創造圏づくりと連携をとり、取組を進めていきます。

<主な事業>

1 (新)宮川流域フィールドミュージアム(仮称)推進事業 (96,574(96,574)千円)

【(201)宮川流域ルネッサンス事業の推進】〔地域振興部〕

宮川流域ルネッサンス事業における「人と自然の共生」のシンボル・プロジェクトである奥伊勢フィールド・ミュージアムをバージョンアップして宮川流域全域に拡大し、身近で魅力的なフィールドをフィールドミュージアムとして、地域とともに創り上げていきます。

- 2 宮川流域をメジャーに！推進事業 (18,698(18,698)千円)
【(201)宮川流域ルネッサンス事業の推進】〔地域振興部〕
全国的には無名に近い宮川流域を「日本一の清流」として、内外に認知してもらうため、普及啓発活動を行うとともに、流域内で活動する NPO 等や宮川流域ルネッサンス協議会の活動を支援します。
- 3 宮川方式水路浄化施設導入促進事業 (3,807(3,807)千円)
【(201)宮川流域ルネッサンス事業の推進】〔地域振興部〕
地域資源を活用した水路浄化方式の普及を図るため、国庫補助と住民管理による導入を目指し、地域住民や地域の研究機関と協働した研究を進めます。平成13年度は、12年度に設置した多孔質コンクリートを使った実験施設で調査、分析、検討を行います。
- 4 宮川流域保全利用調査事業 (13,000(13,000)千円)
【(201)宮川流域ルネッサンス事業の推進】〔地域振興部〕
宮川流域の水質の保全と水量の確保を図り、健全な水循環の構築に役立てるため、治水対策及び土砂管理についての検討を行います。

<主な見直し項目>

「アユが跳ねる豊かな川づくり推進事業」は事業完了に伴い廃止。

「宮川流域森林ゾーニングモデル事業」は事業完了に伴い廃止しますが、同事業の成果を「森林環境創造事業」に生かし、総合行政の中で取り組みます。